

# 赤松林太郎語録 —そのピアノズムを支えるのは強靱な精神と頭脳—

- 言葉で言い表せないものを表現するのが、音楽家の仕事である。だからこそ、僕は表現したいものについて、できるかぎり言葉に置き換えることから始める。感性とは解釈の先端部分に位置するもの。言葉を磨く作業を繰り返すうちに、感性が鍛えられてくる。そうすることで直観の神秘にぶつかる瞬間が得られる。(「虹のように」より)
- 鍵盤に触れるということは、人間の琴線に触れる営みなのだと感じる。  
そのために全ての感覚を研ぎ澄ませ、一音ずつを磨き抜く仕事は、まことに尊いもの。  
音楽家はそのため生きるのだ。(「闘うピアニスト 赤松林太郎ブログ」より)
- 信用が揺らぐ世の中であって、何を信ずるか。当然、モノではあり得ません。根源的な魂でしかないのです。勇気、感動、希望……。200年、300年続いている西洋音楽がなぜ、いまでも心に有効なのか。なぜ意味もわからないのに涙が出るのか。そこに大きなメッセージがあるからにはほかなりません。(神戸新聞インタビュー記事より)
- 音楽というのは、辛い時でさえ、幸せのために奏でるものだ。苦悩に満ちた厳しい状況で作曲されて、辛いものを描いている音楽だとしても、それは人間が幸せになるために書かれ、僕たち演奏家もまた、人間を幸せにするために表現しなければならない。「いや、それは違う」という意見もあるかもしれないが、それはそれでいい。僕がハンガリーで教えられたことは、音楽は人を幸せにするものだということ。これは作曲家からのギフトなのだ。(「虹のように」より)

## 赤松 林太郎 (ピアノ) Rintaro Akamatsu

2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曽根実氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をコーナ・パタルチュツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。

2000年にクララ・シューマン国際ピアノコンクール(審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど)で第3位を受賞した際、Dr.ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。国内各地の主要ホールはもとより、欧米、ロシア、台湾、コロンビアなどを公演で回る。東京交響楽団などと共演。キングインターナショナルから《ふたりのドメニコ》、《ピアソラの天使》、《そして鐘は鳴る》、《インヴェンションへのオマージュ》をリリースして各誌で絶賛される。1,000名以上の指導に携わり、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っており、新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道和書院、2016年)。「美しいキモノ」にたびたび出演・掲載されている。

現在、全日本ピアノ指導者協会評議員・演奏研究委員。ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学・大学院客員教授、大阪音楽大学・大学院特任准教授、札幌大谷中学校・高等学校音楽科特別講師。



Photo:Shino Ono



### インヴェンションへのオマージュ《最新盤》

J.S.バッハ: 2声のインヴェンション BWV772-786 (全曲) / フランス組曲 第2番 ハ短調 BWV813 他  
KKC-048 キング・インターナショナル 2017年8月録音

リリースするディスクすべてが強烈な印象を残す赤松林太郎。圧倒的な存在感と説得力あふれる解釈が高い評価を受ける彼の第4弾はバッハ作品集。バッハの名作「2声のインヴェンション」全15曲をメインに、インヴェンションの意味「発明、工夫」を考察します。



### ピアソラの天使〜ピアソラ・オン・ピアノ ピアソラ (編曲山本京子)

リベルタンゴ/アディオス・ノニーノ/天使のミロンガ/オブリビオン 他  
KKC-038 キング・インターナショナル 2013年12月/2014年8月録音

ピアソラのタンゴのなかから、ここでは天使のシリーズをメインに、人気の高い「オブリビオン」や「リベルタンゴ」ももちろん収録。民族色豊かな作品に巧いところを見せる赤松ならではの、南米そのものの空気を感じさせてくれます。



### 虹のように

道和書院 初版2016年11月 四六判並製カバー装・236頁

瞬時に過ぎ去る音。つかのまの虹。再び同じ場所に同じ感動は起こらない。だからこそ深く心に刻まれる永遠の響き……華麗な超絶技巧と驚異の博覧強記で知られる異才ピアニストが初めて明かす、日々の鍛錬と独自の思考術。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業